



# 6年生オススメ図書



## 図書館がくれた宝物 ケイト・アルバス作 (青少年読書感想文課題図書)

12歳のウィリアム、11歳のエドモンド、9歳のアンナの3人は、両親を亡くし厳格な祖母に育てられていたが、その祖母も死去すると居場所を失う。そこで弁護士に勧められ、ロンドンからの学童疎開に合流して田舎の村に行くことになる。



## まぼろしの小さい犬 ウルフ・スタルク 作

誕生日、待ち望んでいた犬のかわりに犬のししゅう絵をもらって犬を飼えないことに絶望した少年は、自分だけに見える「小さな犬」の幻影を作り出し、その犬との時間のために普通の生活を捨ててしまう。



## 弟の戦争 ロバート・ウェストール 作

ぼくの弟は心の優しい子だった。弱いものを見ると、とりつかれたみたいになって「助けてやってよ」と言う。人の気持ちを読み取る不思議な力も持っている。そんな弟が、ある時「自分はイラク軍の少年兵だ」と言い出した。



## サイテーなあいつ 花形 みつる 作

ソメヤは、トロくてみんなのきらわれ者。席替えでソメヤの隣になったカオルちゃんは、先生から「カオルはできるんだから、おしえてやんなさい」と頼られ、サイテーな1学期を迎えることに。それでも、少しずつお互いのことがわかり始めたふたりでしたが…。



## ハッピーノート 草野 たき 作

小学校でも塾でも、いじめられてるわけでもないのに、なかなか自分らしくいられない。六年生の女の子、聡子。そんな聡子は塾に新しく入ってきたリサにふりまわされながら、好きな男の子と仲良くなろうとがんばるうち、変化が起きます。



## ムギと王さま ファージョン 作

彼は自分のお父さんのムギ畑がとても好きでした。しかしそこへ通りかかったエジプトの王さまは、「自分こそがこの国一番の金持ちだ」ということを示すためにそのムギ畑を焼いてしまいます。



## 月夜とめがね 小川未明 作

月のいい静かな晩、おばあさんはひとり座って針しごとをしていました。そこへ、めがね売りの男が訪ねてきました。針に糸が通らないで困っていたおばあさんは、大喜びでめがねを買いました。ふたたび戸をトントン。今度は…。



すべて門真市立図書館にあります。夏休みぜひ読んでみてください！